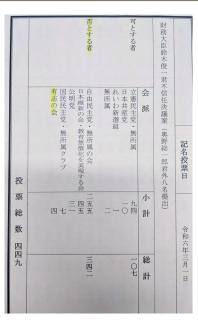
福島のぶゆき国会日誌

<「道化の劇場」国会と決別へ>

3/2、長い二日間にわたる予算案の採決をめぐる緊迫した国会が終わりました。

3/1の予算委員会で立憲民主党は質疑者を出さず、小野寺五 典予算委員長解任決議案を提出しました。慣例により本会議で 優先処理されました。議案の提案理由には制限時間がないため、 立憲民主党の山井和則議員が大きな袋一つ分の資料を持ち込み、 衆議院史上最長の演説を行いました。

続いて立憲民主党は鈴木俊一財務大臣不信任決議案を提出。 奥野総一郎議員も大量の資料を持ち込み長時間の演説を行いましたが、日付が変わる直前に同僚議員からの白旗を合図になぜか突然終了。翌日何の混乱もなく粛々と予算案は審議され、可決されました。一体あの審議引き延ばしは何だったのでしょうか?



私たち有志の会は、予算案に反対、所得税法等国税改正法案に反対、地方税等改正法 案に賛成いたしました。1日深夜に及んだ小野寺予算委員長解任決議案は退席・棄権、 鈴木財務大臣不信任案には反対しました。

元より、能登半島地震対応を補正予算案として出さず予備費で対応しようとしていること、子供子育て支援予算の財源が実質増税で将来に禍根を残すものであること、何よりも自民党派閥パーティー裏金問題について説明責任が全く果たされていないことから、予算案に賛成する余地はなく、岸田政権の舐め切った国会対応を許せるものではありません。

一方私たちは、元々野党が予算案審議の過程で与党と本気で戦っているとは思えず、 最後の最後に帳尻を合わせるかのように戦っているふりをしていることは看過しえず、 フィルバスターと言われる採決を延ばすパフォーマンスに付き合いきれず棄権・反対を 行ったのです。このような国会はこれで最後にするために、私たち有志の会はまなじり を決して行動してまいります。

<御礼 国政報告会開催>



2/23、筑西市で県西地区の後援会連合会による国政報告会を開催いたしました。

来賓は有志の会の吉良州司議員、北神圭朗議員に加え、 お隣の栃木4区の藤岡隆雄議員と須藤茂筑西市長。愛飲している地元の「来福」で鏡開きをいたしました。

有志の会のメンバーによる今の国会の状況と今後の政界の動きについてのディス

カッションをしました。今ある政党の枠組みを超えたダイナミックな政治の動きを起こしていくとの決意は、多くの皆さんに共感いただいたのではないかと思います。

